

研究課題名	<p>外傷性肘関節損傷術後のリハビリテーション ～上腕骨遠位端骨折の治療成績～</p>
実施責任者	所属・職名：名古屋掖済会病院・リハビリテーション部
	氏名：加藤雅大
研究の概要	<p>肘関節周辺骨折において上腕骨遠位部骨折では可動域の改善に難渋することが多いです。そのため、手術方法を工夫する報告は広く知られています。しかし、術後のリハビリの詳細については明らかになっていません。そこで、この研究では上腕骨遠位部骨折に対して手術にて2枚のプレートで固定を行った患者様を対象に術後リハビリの詳細および可動域を含めた治療成績を明らかにすることを目的としています。</p>
対象となる個人情報	<p>対象患者様における性別・年齢・肘関節の動き・各リハビリの開始時期および内容を調査します。</p>
実施の期間	西暦 2015年 1月 1日より
	西暦 2019年 9月 30日まで
研究対象	<p>当院にて片側の上腕骨遠位部骨折と診断され2枚のプレートで固定する手術を受けた50歳以上の方を対象とします。</p>